

4. 題材の評価規準

1 音楽への関心・意欲・態度	2 音楽的な感受や表現の工夫	3 表現の技能	4 鑑賞の能力
①日本の伝統音楽に関心を持ち長唄「勸進帳」を聴いている。 ②三味線に興味・関心を持って意欲的に演奏している。	①長唄の声の特徴や楽器について、音色やリズムの特徴を感じ取っている。 ②三味線の音色の独特な響きを感じ取り、表現を工夫している。	①三味線で曲を演奏する技能を身につけている。	①日本の伝統芸能「歌舞伎」のよさを味わっている。

5. 指導と評価の計画（4時間）

時間	○指導計画 ・主な学習活動	題材の評価規準との関連	評価方法等
1	○長唄に関心を持ち、意欲的に学習しようとする。 ・日本の伝統芸能「歌舞伎」について知る。 ・長唄に使われる楽器の名前や音色について知る。 ・CDやビデオで長唄「勸進帳」の演奏を聴き、曲の特徴を聴き取る。 ・長唄「勸進帳」を聴いた感想を書く。	観点1-① 観点2-①	・観察、自己評価カード
2	○三味線に興味・関心を持ち、演奏する。 ・三味線の構造や音の出し方などをビデオで見て学習する。 ・グループに分かれて順番に三味線を持って音を出してみる。 ・お互いに助け合いながら正しく構える。 ・「メリーさんの羊」を演奏する。	観点1-② 観点3-①	・観察、自己評価カード
3	○三味線の独特な響きのよさを感じ取り、意欲的に表現する。 ・模範演奏を聴き、奏法による音色の違いを聴き取る。 スクイバチ、ウチ、スリなど ○グループ練習を行う。 ・「寄せの合方」の最初の部分を演奏してみる。 ・グループ内でお互いに教え合いながら練習する。 ・分からないことは講師の先生に聞く。	観点2-②	・観察、自己評価カード
4	○学習の総まとめとして歌舞伎「勸進帳」を鑑賞する。 ・ビデオで歌舞伎「勸進帳」を見る。 ・歌舞伎の雰囲気味わう。 ・三味線の音色を感じ取る。	観点4-①	・感想文

6. 本時の学習 (3 / 4)

(1) 題材名 日本音楽に親しもう
 教材名 長唄「勸進帳」より 「寄せの合方」

(2) ねらい
 ・三味線の独特な音色を感じ取り「寄せの合方」の表現を工夫する。

(3) キャリア教育の視点から
 ○人間関係形成能力
 グループ練習に積極的に参加し、三味線の演奏に取り組む中で、グループ全員が目標を達成するために互いに助言し合える力を養う。

(4) 準備 三味線、「寄せの合方」の楽譜、自己評価カード

(5) 本時の展開

配時	学習内容	生徒の学習活動	支援 (・) と評価 (○)	キャリア教育の視点
導入 5分	学習への導入	・既習曲を合唱する。	・音楽の学習への雰囲気をつくる。	
展開 40分	前時の振り返り	・前時の学習を確認し、感想を発表する。	・前時の自己評価カードの感想を紹介し意欲を持たせる。	
	今日の目標の確認 「寄せの合方」の演奏の鑑賞	・「寄せの合方」を演奏しよう ・ゲストティーチャーによる寄せの合方の模範演奏を聴く。 ・三味線の奏法による音色の違いを知覚する。 ・ゲストティーチャーによる奏法の説明を聞く	・自己評価カードの項目も合わせて確認するよう、声をかける。 ・集中して聴ける雰囲気をつくる。 ・最初の部分を繰り返して演奏してもらおう。	
	三味線のグループ練習	・3人グループに分かれて寄せの合方を練習する。	○三味線の独特な音色を感じ取り、表現を工夫している。 (観点2-②)	・グループで互いに助け合って練習を進めることができる。 (人間関係形成能力)
まとめ 5分	まとめ	・自己評価カードに今日の評価と感想を記入する。	・本時の学習活動を振り返らせる。	